

1 令和2年4月1日から同年9月30日までの財政の状況

(1) 財政の動向

令和2年度の流山市一般会計歳入歳出予算総額は、698億3,500万円であり、令和元年度の600億6,700万円に比べ、97億6,800万円、約16.3%の増額となっている。

主な増額の要因としては、子育て世代を中心とした人口増加に対応するための子育て、教育環境の整備、高齢者の増加に伴う社会保障費が増大したため、民生費は前年度比40億4,814万円、教育費は59億2,137万9千円の増額となったことによるものである。

また、6月に行われた流山市議会第2回定例会において、新型コロナウイルス感染症対策に関する経費として、特別定額給付金の関連経費や小中学校のトイレの洋式化及び手洗い場の自動水栓化の経費などを新たに計上したほか、前年度からの繰越額を含めると、9月末の予算現額は937億5,006万5千円となっている。

なお、上期における予算現額を前年の9月末現在のものと比較すると、歳入では、納税義務者数や新築家屋等の増加などから市税は18億6,433万3千円増額、市債は新設小学校建設事業債や新設中学校建設事業債などの発行に伴い、25億5,000万円の増額となっている。

また、歳出においては、子育て世代の人口増加に伴う子育て施策に関連する経費や特別定額給付金の支給に関連する経費などにより、民生費が240億3,523万3千円の増額、また、新設小・中学校に係る建設事業の実施により、教育費が75億15万8千円の増額となり、前年9月末現在と比べて316億8,078万3千円の増額となっている。

一般会計と特別会計の9月末現在の執行状況は(3)収入及び支出の概況のとおりである。